

1 学期終業式 校長講話

今日は1学期の終業式です。明日からは37日間の夏休みです。

今週になってからは「もうすぐ1学期が終わりだ。夏休みの始まりだ。」という実感がわいてきて、どこかホッとする気持ち、わくわくと楽しみな気持ちを抑えきれなかったと思います。きっと先生たちも同じです。実は校長先生も同じです。

それでは、終業式のお話として、まず、1学期の振り返りについてです。

これは前回の全校集会の時にお話をさせてもらったので、長くならないように、今日は繰り返しません。

1学期を振り返って、「良かったこと」・「良くなかったこと」をはっきりとさせ、「良くなかったこと」については、これからどのようなことに気をつければ「改善」できるのか、しっかりと考へて2学期につなげてください。「改善」は大人にとっても子どもにとっても大切なことだと思います。校長先生もしっかりと考へて2学期につなげます。

次に、夏休みについてです。

学年集会で学年の先生から、あるいは非行防止教室で警察官の方から、さらにこの後、生徒指導主事の先生からさまざまな話があった、あるいは、あると思いますが---

校長先生からは、せっかくの夏休みを充実してすごすための提案を、自分自身にも言い聞かせながら3つしてみたいと思います。ちなみに、夏休みのしおりに書かせてもらったのと要點は同じです。

●その1 リフレッシュしよう ---必要ない人もいるかもしれないけど、長い1学期をすごして心身の疲れは相當にたまっていると思います。まず、ゆっくりと休んで、心と身体の新鮮さを取り戻しましょう。疲れたままだと良いパフォーマンスは発揮できません。

●その2 計画を立てよう ---「やることリスト」をまずつくり、おおまかなタイムスケジュール(=いつまでに何をする)を立ててみましょう。はっきりと「目標」があって、そのための「やることリスト」をつくれれば最高です。それが難しくても、とりあえず「やることリスト」はつくってみましょう。

●その3 その計画に加えよう ---時間にゆとりがある時にしかなかなかできないことを。

夏休みのしおりに書いたことでいうと---

- 1学期に学習した内容の復習にじっくりと取り組んでみる。
- 3年生は受験勉強として、1・2年生に学習した内容の復習にもじっくりと取り組んでみる。
- 部活動の練習にがむしゃらに取り組んでみる。
- 好きなことにある時間を充実させる。例えば、料理をつくってみたり、楽器を弾いてみたり。
- 家事のお手伝いをしてみる。
- しっかりと本を読んでみる。 などなど。

---どれも昔から夏休みにはこんなことに取り組んでみようと言われるようなことばかりですが、実際に取り組めたら大きな意味があると思います。

ぼおつとしていたら、何もしないままにあつという間に終わってしまい、終わる間際に宿題に苦しむのが夏休みというものです。そうならないように、ぜひ、夏休みを充実させようという気持ちをもってすごしてみてください。それでは、みなさん良い夏休みを。そして、3年生。「悔い」の残らない過ごし方をしてください。